□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

コアマイクロシステムズ、仮想化環境向け最適化高速統合ストレージ
「Prime STOR SUPERTIER」を3月7日より発売開始

～世界最高速クラスの300万IOPSを実現した仮想環境向けグリーンストレージ～

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.021 2012/03/08 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

昨日発表いたしました世界最高速クラスの300万IOPSを実現する仮想化環境向け最適化高速統合ストレージ「Prime STOR SUPERTIER」をお伝えしたく、メールマガジンを発行いたしました。

近年、ITの効率化のもと、サーバ仮想化／デスクトップPCの仮想化が急速に進んでいます。　これらの仮想化環境の構築においては、ストレージのI/O特性（IOPS、スループット）が要になることから、従来非常に高価なハイエンドストレージが使われてきました。

本来、仮想化はIT効率化によるトータルコスト低減が目的であったのにかかわらず、ほとんどの場合、これらコスト低減が達成されていないだけではなく、新たなパフォーマンス問題に直面してしまっているのが現状です。

弊社では、仮想化環境におけるストレージI/O特性を正しく分析し、ストレージリソース（DRAM／SSD／HDD）の配置及び、高効率なキャッシュ技術によりストレージシステムの最適化を可能にしました。これにより、最高のIOPS／スループットを実現すると共に、コスト指標及び消費電力指標においても、従来比の10倍を超えるトータルパフォーマンスを実現します。
引き続き宜しくお願いいたします。

本製品のスペックなどは以下の報道発表文章の原文をご覧ください。
http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120307.html

□□ INDEX □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇3月7日発表

コアマイクロシステムズ、仮想化環境向け最適化高速統合ストレージ
「Prime STOR SUPERTIER」を3月7日より発売開始

～世界最高速クラスの300万IOPSを実現した仮想環境向けグリーンストレージ～

[ストレージ・マーケティングコラム]

第八回：ストレージソフトの市場動向

□□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇3月7日発表

コアマイクロシステムズ、仮想化環境向け最適化高速統合ストレージ
「Prime STOR SUPERTIER」を3月7日より発売開始

～世界最高速クラスの300万IOPSを実現した仮想環境向けグリーンストレージ～

原文：http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120307.html

解説：
このメルマガの読者の皆様にはあえて述べるまでもないですが、仮想環境配下のストレージは過酷な要件が求められます。より速く堅牢に、低コストで省電力なストレージがほしいという要件はとても多いです。今回の新製品はまさにそのようなご要望に応えた製品と言えると思います。（吉政）

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第八回：ストレージソフトの市場動向

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

「ストレージソフト」と書けば、たいがいの人は「ストレージを管理するソフトなんでしょ？」と思うと思います。それはそれであたりですが、反面「ストレージソフトっていう市場ってあるんですね」と感じる人も多いと思います。

「ストレージソフト」の強みは、安価なストレージでも高価なストレージ並みの機能を実現できたり、メーカー混在のストレージ環境を一元管理できたりします。

少し前に発表された「ストレージソフト」市場のデータを見るとものすごい安定成長市場でした。不況にも負けず、確実に4%前後で伸びている市場です。ついに日本市場で686億円市場になりました。

※データの詳細はBCN3月5日号のP18をご覧ください。

不況に関係がなく、成長している関連指標を想像すれば、恐らく新規の生成データ量が適切だと思います。こちらも不況に関係なく毎年増え続け、とうとう2015年には年間で8.4エクサバイト（全世界）に達するそうです。

保管しなければならないデータは増え続け、ストレージの増設が必要になったりします。その時に当時のストレージ機種は既に販売停止になっていたり、より良い他メーカーのストレージが出ていたりします。様々な理由があって、最近ストレージは単一メーカーで使用されないケースが多くなってきたと思います。そうなるとやはりストレージソフトというものが必要不可欠になってきます。

そこで、一押しのストレージソフトをご紹介します。

日本で弊社がサポートしている「NexentaStor（ネクゼンタストア）」をご存じでしょうか？、「NexentaStor」はOpenSolarisの後継のようなソフトで、Ubuntuの技術も採用した使いやすく堅牢な、いいとこどりのストレージソフトウェアです。最近は大手クラウドの配下のストレージとしても採用されており、今後の普及が楽しみです。ちなみに本日発表された「Prime STOR SUPERTIER」にも採用されています。興味がある方は以下のページや資料をご覧ください。

「NexentaStor」の詳細は以下をご覧ください。
http://www.cmsinc.co.jp/products/nexentastor.html

「NexentaStor」の技術資料は以下をご覧ください。
http://www.cmsinc.co.jp/doccenter/index.html

（マーケティング・アドバイザー　吉政忠志）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
※　CMS News Letterについては下記にバックナンバーをアップしています。
　　http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/index.html

編集後記

バカなことを書きますが、今更ながら「Prime STOR SUPERTIER」の300万IOPSには驚きました。常に先端技術を評価している人にとっては、珍しくないかもしれませんが、一秒間に300万回もI/Oをしてしまうストレージってすごいですよね。考えただけでわくわくします！（吉政）

コアマイクロシステムズでは、お客様事例を募集しております。事例公開にご協力いただきましたお客様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載し、皆様のビジネスの露出度向上に些少でも貢献出来ればと思います。お気軽に弊社担当までお申し付けください。
―◇本メールマガジンの登録解除方法◇―
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法
このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
（１）メールアドレス：
（２）氏名　　　　　：
（３）会社名　　　　：
（４）部署名　　　　：
（５）役職名　　　　：

発行人：コアマイクロシステムズ株式会社　吉政　忠志
――――――――― (C) Core Micro Systems Inc., All Rights Reserved ―